

MRI検査詳細チェックシート

	部品・材料	備 考
禁忌	体内の電子電機部品	ペースメーカー、移植蝸牛刺激装置(人工内耳)、植込み型除細動器、神経刺激器、植込み型プログラマブル注入ポンプ(ポンプのローターが一時的に止まる)。
	脳動脈クリップ	種類を確認。MRI検査可能な製品は問題ない。 以前に他院において手術した場合は特に注意。死亡例あり。
	目など、決定臓器に位置する強磁性体の破片	鉄片、弾丸など。失明例あり。
	目など決定臓器に位置する鉄片などの破片	存在する可能性がきわめて高い場合のみ、X線単純撮影やCTで確認。
	磁場によって活性化するもの	磁力で装着する義眼、磁石部分が脱着不能な義歯など。
	目のメイクアップ用品	強磁性体が含まれている顔料があり。
	入れ墨	火傷の可能性あり。頻度が非常に少ないので容認としてはとの見解もあり。
	補聴器	見落としやすいので注意。
	いくつかの血管内デバイス	スワングンツカテーテルは溶けた例あり。 力学的作用を受けるコイル、ステント、フィルタで組織と融合していないもの。
	ペースメーカーワイヤ	現時点では慎重であることが望ましい。
	心血管カテーテル	導電率が高い材料を含む製品。
	ニトログリセリン真皮浸透絆創膏	日本ではニトロダームの名前で発売(アルミニウムを含む)。
	強磁性体ポンプおよび体外固定具	酸素ポンプなど。 針金が入ったシーネ、強磁性体入りの砂嚢、人工肛門パウチなどの磁性体クリップ。
	リード線、ケーブル	心電モニター用のリード線やRFコイルのケーブルは、直接皮膚に接触しない。
装身具など	ヘアピン、アクセサリー、時計、携帯電話、磁気カード、下着の金属。	
検査可	脳神経外科用材料	骨弁および固定するためのワイヤ、縫合材料や小さなプレート、スクリュー。 磁力で流量調節が可能なシャントチューブは、仕様を確認する必要あり。
	耳、歯のインプラント	移植蝸牛刺激装置(人工内耳)は禁忌。
	コイル、ステント、フィルタ、オクルーダ	力学的な作用を受けなければ安全。 力学的な作用を受けても、組織に融合(術後6週間程度待つ)していれば検査可能。
	頸動脈クランプ	一般に安全であるが、Poppen-Blaylockの製品は禁忌。
	ステイプルなどの皮膚縫合用金属、止血クリップ	一般に安全であるが、様態の変化に注意して行う必要あり。
	穿刺針	テープなどで固定してあれば安全。
	心臓の人工弁	以前はStar-Edward600番以前(1970年以前)の製品は禁忌であったが、現在では問題ないとされている。
	整形外科のインプラントや材料	膝の十字靭帯再建に用いられるPerfix Interference Screwは、強磁性なので禁忌。
	ハローベストなどの外付けの固定具	MRI検査仕様のもののみ可。
	骨融合刺激器	埋込型脊椎融合刺激器など。
	乳房組織拡張器	磁石部分が存在して安全と断定できない種類もあり。
	陰茎インプラント	不快感を伴うものが二種類ある。
	子宮内避妊具、避妊ペッサリー	アーチファクトが出現するが安全。
	体内に埋め込まれた金属で特に小さなもの	力学的作用を受けなければ基本的には安全。
注意	強磁性体	対応が製品によって異なるため、型番を調べて安全性を確認するか、ハンドマグネットで力を受けるかを確認。
	金属探知器	小さな金属や深部にある金属などを検知できない場合があり、必ずしも絶対的でない。
	縫合用ステイプルや入れ墨	冷湿布やアイスパックなどをあてる提案もある。

参考文献:INNERVISION(19・9)2004

※ご不明な点がございましたら、ときわ病院放射線科(☎0794-85-2304)までご連絡下さい